



# 松山の宝を 次の世代へ。

松山市長 野志 克仁

道後温泉本館は、松山市の大切な宝です。子や孫の世代に引き継ぐため、平成31年1月から国の重要文化財の公衆浴場では全国で初めて、営業しながら保存修理工事を開始しました。当初の予定より約半年早く、令和6年7月11日から全館での営業を再開します。地元の方をはじめ、関係者の方々のご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。

地域経済への影響を心配する声もある中、「ピンチをチャンスに変えるんだ」という強い気持ちで、工事に踏み切り、知恵と工夫で、道後温泉別館 飛鳥乃湯泉を新設し、道後にアートを取り入れるほか、地元の方々とこの期間ならではの魅力を創り出し、発信してきました。

官民の努力があり、観光経済新聞社の「にっぽんの温泉100選」で2年連続全国3位に選ばれるなど、工事期間でも、その価値や街の魅力を高く評価されています。

道後温泉本館は、これまでの歴史的な価値や情緒ある雰囲気を受け継ぎながら、お客様に寄り添いサービスも高めました。

明治27年の本館改築から130年。全館営業再開を新たな歴史の幕開けとし、さらに磨きをかけながら、魅力を国内外に発信して、多くの方にお越しいただき、インバウンドを含めた観光誘客や消費拡大で地域経済を活性化していきます。

日本初の重文公衆浴場。



# 道後温泉 本館



## 全館営業再開



伊佐庭如矢が道後湯之町の初代町長に就任したのが明治23年、62歳、町民に幕藩時代からの行政手腕を頼られずに隠居に近いところから再度新時代の温泉地経営を担ったのでした。如矢は湯量も限られる道後温泉が未来に渡って他の有力な温泉地と肩を並べていくためには人々が驚くような入浴施設を建築し評判をとらねばならないと考え「道後温泉本館」を構想しました。町民は現在の金額で40億円、当時の町予算の20年分を超える建設費に驚愕し苛烈な反対運動が起こりました。如矢の身に危険がおよびかねないこともあったと伝えられています。如矢は「道後温泉の百年後のことを考えて助けておくれかなもし。」とまさに命をかけて町民を説得し道後温泉本館の建築を成し遂げました。

### 百三十年前の 先見の明。

道後湯之町初代町長 伊佐庭 如矢



平成から令和へ

## 保存修理工事の概要

2019年1月 >>>

### 【保存修理工事の経緯】

松山市の観光のシンボルである国の重要文化財 道後温泉本館は、神の湯本館棟が改築されてから120年以上経過しており、施設の老朽化が進み、耐震補強の必要性が生じました。

本館保存修理工事の主な内容は、屋根の葺き替えなど文化財的価値の保存、地震の備え、温泉配管などの設備の更新の3つです。

道後温泉本館は、増改築を繰り返したことで複雑な構造への耐震補強、重要文化財であるため、見た目を損なわないよう見えない部分へ補強する工事の難しさがありました。

また、文化財保存修理では、取り替える部材を最小限にしながら本物の部材をいかにして残り、後世へ文化財の価値を残していくのが重要です。解体しながら1つ1つ部材を確認し、古い本物の部材を最大限残し、建物の使い勝手を損うことなく再使用することを検討しました。

### 道後温泉本館改築130周年記念シンポジウム 第1部『道後温泉本館大改修を語る』

シンポジウム第1部抄録

先ず本館の工事に入る前のそもそもの話として、一体、どういう構成になっているのか、内部も複雑で、まるで迷路です。夜間営業が終わった後に壁や小屋裏がどうなっているのか狭いところに入っていて、とにかく徹底して調査しました。普通の木造住宅で1層2層はたくさんあるけれども本館のように3層以上になると構造的に難しくなり、その多層のものがいくつもの時期に分かれて建てられているので、さらに複雑な構造になっていくわけです。ほかにも、コンクリートの部分と木造の部分で微妙に繋がっていたり、互が乗って重い建物であったり、そういうところが本館の特徴であり難しさだったと思います。

平成12年度から建物の総合診断を開始し、平成31年1月15日から営業しながらの保存修理工事に着手しました。それも本館の4つの棟をわがわがの営業しながら工事を進めました。ある意味、アクロバティックな工法です。当初、全館を閉

じて工事を行う案も検討しましたが、地域経済への影響の議論もあり、なんとか営業しながらできないかということで、関係者間で激しい議論が行われました。二転三転ありましたが、結果我々は、営業しながらの工事に踏み切りました。

難易度という点も最高難度です。130年前に近隣の山林から木材を切り出した林業家や、それを使って100年以上も持つ3階建ての建物を造った大工の目利きや力量、それに加えて営業を続けながら複雑な構造の建物の保存修理工事に携わった、現代の建築関係者の力量などを総合的に考えると、都市部で行われている超高層ビルの建築以上の難度があったと思います。

だからこそ「松山の人たちは保存修理工事を終えた道後温泉本館を誇りに思っています。これが今回の事業に関わった私たちの負らざる想いです。」

- パネリスト 東京大学大学院 教授 羽藤 英二 氏
- パネリスト 東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 教授 藤田 香織 氏
- パネリスト 東京大学名誉教授 多摩美術大学学長 建築家 内藤 廣 氏



## 道後温泉本館

ココが変わった!

- 【 飛翔の間 】 【営業時間】※1日5組限定、事前予約可 8:00~9:30、11:00~12:30、14:00~15:30、17:00~18:30、20:00~21:30
- 【 しらさぎの間 】 【営業時間】※1日5組限定、事前予約可 6:30~8:00、9:30~11:00、12:30~14:00、15:30~17:00、18:30~20:00
- 【 道後湯上がり乃しらさぎ 】 「飛翔の間」「しらさぎの間」のために特別に開発。「紅まどんな」のジャムなど愛媛の素材をいかし、しらさぎをイメージした可愛いお菓子。※自社で提供
- 【 再開するお部屋 】 神の湯二階席、雲の湯二階席、雲の湯三階個室、坊っちゃんの間などの利用を再開。 ※写真は坊っちゃんの間(個人撮影は自由可)

保存修理工事中の取り組み → Reactivation

- 【 道後温泉 空の散歩道 】 平成31年1月に、空の散歩道に足湯と休憩施設を、道後温泉(冠山)駐車場へのアクセスで強歩道を整備しました。
- 【 道後REBORNプロジェクト 】 手塚治虫さんの「火の鳥」とコラボレーションし、本館北面のプロジェクションマッピングなど、工事を歴史的、文化的な観光資源として演出し、情報発信しました。
- 【 熱景/NETSU-KEI 大竹伸朗 】 本館を覆う素屋根テント膜を、画家の大竹伸朗さんが作品化し、道後に湧き続ける「湯」のイメージから色と形を通して尽きぬエネルギーを表現しました。

道後温泉コンソーシアム代表 新山 富左衛門

日本最古の道後温泉。この歴史の裏には、人々のたゆまぬ努力があったことを、改めて思い返しています。先人のご功績に感謝しつつ、これから道後の新たな歴史を刻んで参ります。道後温泉本館は本年4月に130歳を迎え、5年半に及ぶ保存修理工事も営業再開まで完了しました。飛鳥乃湯泉、榎の湯とともに趣向を凝らした3つの外湯で皆様のお越しをお待ちしております。

- 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 会長 宮崎 光彦 この度「道後温泉2050ビジョン」を策定。「温泉だけに頼らない世界に開かれた日本最古の温泉文化を体現する街」を目指し、「デジタル温泉都市構想」をはじめ10の重点プロジェクトを具現化していきます。
- 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長 大木 正治 愛媛は、豊かな自然と観光資源に恵まれた県です。その代表的な観光スポット道後温泉本館が5年半の歳月を経て、いよいよ7月に完全オープンします。「観光立国・愛媛」を全国に披露いたします。皆様、ぜひご堪能ください。
- 道後温泉旅館協同組合 理事長 奥村 敏仁 この全館営業再開にあたり旅館組合も参加し組成したコンソーシアムで運営を担うこととなりました。さらにもてなしを充実しお客様をお迎えいたしますのでぜひ道後温泉にお越しください。

【道後温泉旅館協同組合】 四国・松山 <https://www.dogo.or.jp/pc/>